

「令和5年度 建設関連企業と学生の交流サロン・ ICT体験学習」

■ 建設関連企業との交流やICT技術体験を通して、建設業や地元の建設企業の魅力を学びました。



県内の学生を対象に、学生が抱える建設業界への不安や疑問を解消するための交流サロンを開催しました。学生は、学校を訪問した地元の建設関連企業で働く技術者との交流を通して建設業の仕事内容や魅力を学ぶとともに、最先端のICT技術を体験し、建設産業に対する理解を深めました。

1 場所、日程等

	学校名	日程	対象学科、学年	サロン	ICT	人数
1	可児工業高等学校	令和5年9月12日 (火)	建設工学科,2年生	○		40名
2	岐阜農林高等学校	令和5年9月20日 (水)	環境科学科,2年生	○	○	40名
3	大垣工業高等学校	令和5年10月5日 (木)	建設工学科,1年生	○		36名
4	岐阜総合学園高等学校	令和5年10月18日 (水)	環境テクノロジー系列,2年生	○	○	10名
5	高山工業高等学校	令和5年10月31日 (火)	建築インテリア工学科,1年生	○	○	34名
6	岐阜農林高等学校	令和5年11月22日 (水)	森林科学科,2年生	○	○	38名
7	関商工高等学校	令和5年12月4日 (月)	建設工学科,1年生	○	○	39名
8	岐南工業高等学校	令和5年12月11日 (月)	土木工学科,1年生	○	○	36名
9	中津川工業高等学校	令和6年1月18日 (木)	建設工学科,1年生	○		32名
10	恵那農業高等学校	令和6年1月25日 (木)	環境科学科,2年生	○		32名
11	岐阜工業高等学校	令和6年2月2日 (金)	建設・デザイン工学科群,1年生	○		36名

2 参加企業

①建設関連企業と学生の交流サロン

学校名	参加企業
1 可児工業高等学校	(株)カネダイ、(株)木講堂、(株)協和建設、(株)ギフ建、佐伯綜合建設(株)可児支店、(株)栗山組、(株)弘栄工務店、(株)新和建設美濃加茂支店、(株)中濃、(株)藤本組、丸ス産業(株)、(株)丸統建 フィアスホーム可茂店、(株)三和木、(株)友進、横山工業(株)、(株)吉川組、(株)ワタケンホーム
2 岐阜農林高等学校	(株)市川工務店、加藤建設(株)、神野産業(株)、岐建(株)、(株)國井組、(株)三進、昭和コンクリート工業(株)、(株)創信、高田建設(株)、巴産業(株)、(株)山辰組、(株)松野組
3 大垣工業高等学校	(株)市川工務店、(株)伊藤工務店、(株)宇佐美組、神野産業(株)、岐建(株)、(株)三進、(株)創信、タナカ設計室、TSUCHIYA(株)、(株)野崎設計、松井工業(株)、(株)松野組
4 岐阜総合学園高等学校	(株)市川工務店、(株)宇佐美組、(株)創信、(株)大幸建築設計事務所、(株)デザインボックス、巴産業(株)、(株)松野組
5 高山工業高等学校	(有)小林建築設計事務所、(株)シモダ道路、日産工業(株)、(有)野中建築設計事務所、(株)丸技巧、(株)柳瀬電気
6 岐阜農林高等学校	(株)伊藤工務店、(株)建築計画研究所、(株)三進、(株)創信、(有)TAE 設計室、(株)松野組、松村工業(株)
7 関商工高等学校	(株)大西組、(有)河合建築設計事務所、(株)川上建築事務所、(株)木越組、(株)新東建設、青協建設(株)、(株)野田建設、(株)友進
8 岐南工業高等学校	(株)創信、巴産業(株)、(株)松野組、森井建設(株)
9 中津川工業高等学校	(有)アサイ設計、(株)熊谷設計、小島土木(株)、瑞明建設(有)、館林建設(株)、付知土建(株)、(株)トライ、(株)吉川組、(株)吉川工務店
10 恵那農業高等学校	板垣建設(株)、瑞明建設(有)、付知土建(株)、(株)トライ、(株)鳴海組
11 岐阜工業高等学校	(株)市川工務店、(株)宇佐美組、(株)岡田設計、(株)加藤組、(株)國井組、(株)創信、(株)大幸建築設計事務所、大日本土木(株)、中央エンジニアリング(株)、内藤建築(株)、(有)那由多デザインオフィス、(株)松野組

②ICT体験学習

学校名	参加企業
2 岐阜農林高等学校	(株) ROBOZ
4 岐阜総合学園高等学校	(株) ROBOZ
5 高山工業高等学校	(株) ROBOZ
6 岐阜農林高等学校	(株) ROBOZ
7 関商工高等学校	(株) ROBOZ
8 岐南工業高等学校	(株) ROBOZ

3 内容

①建設関連企業と学生の交流サロン

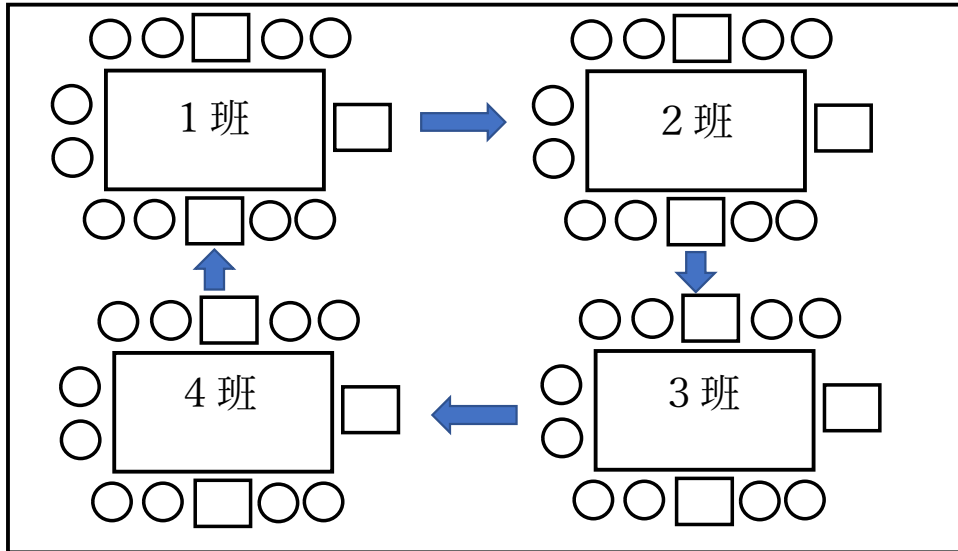
- 1) はじめに (サロンの趣旨説明等)
- 2) 「建設業のイメージ及び疑問」の整理
- 3) 建設関連企業との座談会
- 4) 座談会を経て「建設業のイメージ及び疑問」がどう変わったか整理
- 5) 各班で整理した内容を発表
- 6) まとめ (生徒からの謝辞等)

・事務局兼コーディネーター

県土整備部技術検査課職員、建設ICT人材育成センター職員を各班に1名配置

・実施形式

班に分かれてのグループワーク及び座談会



②ICT体験学習

- ・ ICT概要説明
- ・ ドローン操作体験（トイドローン、プログラミングドローン）
- ・ UAV測量体験

4 主催 ぎふ建設人材育成・確保連携協議会

（協力：建設ICT人材育成センター（(公財)岐阜県建設研究センター内））

5 実施状況



【交流サロン①】生徒たちが事前に整理した建設業のイメージや疑問を模造紙にまとめました。



【交流サロン②】模造紙の内容に沿って、ご自身の経験や感じたことを踏まえ、地元で働くやりがいなど分かりやすくお話いただきました。



【交流サロン③】座談会を経て、建設業のイメージや疑問がどのように変化したかを整理しました。



【交流サロン④】各班、代表者1名が整理した内容を発表しました。



【ICT技術体験】“ドローン操作体験”
コントローラーで小型ドローンの操縦を行い、ドローン操作の体験をしました。

6 感想

- ・ 交流サロンを受ける前は悪いイメージがあったけど、交流サロンを受けてからは色々な話を聞いて興味が湧いたし楽しそうでした。
- ・ 実際に働いている人から、色々な話を聞いてよかった。また、雰囲気なども知れてよかった。
- ・ 皆さん自分の会社の話をする時楽しそうに聞いていて楽しかった。
- ・ 資格をしっかりと取って夢に向かって頑張りたいと思った。